

第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	3	のびやか・雄武	整理番号	51
基本施策	14	芸術・文化の振興	評価 責任者	教育振興課長 澤田 朋朗
単位施策	1	歴史文化の保存と継承		

1 施策の概要

基本方針	町内の貴重な歴史文化遺産や史料を後世に継承していくため、文化財指定制度を検討するとともに、調査研究、発掘・記録収集、保存措置、町民への周知、収蔵・展示施設の設置などを系統的に進めます。			
現状と課題	【現状】（平成23年度末）	【現状】（平成26年度末）		
	本町の歴史については、古くは竪穴住居群などの埋蔵文化財のほか、寄贈を含めた郷土資料についても歴史的価値の高い遺産として、施設に保管されているとともに、町広報誌による一般供覧化を図っている。	本町の歴史については、古くは竪穴住居群などの埋蔵文化財のほか、寄贈を含めた郷土資料についても歴史的価値の高い遺産として施設に保管されている。		
	【課題】（平成23年度末）	【課題】（平成26年度末）		
	歴史や文化に対する住民意識は高まりを見せてきているが、郷土資料については、保管並びに広報誌での一般供覧化にとどまっており、展示スペースの確保を図る必要がある。	歴史や文化に対する町民意識は高まりを見せてきているが、郷土資料については、広報誌での紹介も行われたが、現時点においては保管にとどまっており、展示スペースの確保を図る必要がある。		

2 基本施策指標

指標 1	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 2	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 3	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 4	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 5	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 6	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 7	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	郷土資料保存・展示調査事業	生涯教育係	0	C	継続/内容の見直し・変更	C
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	B	町民に郷土の歴史に誇りを持ってもらい、後世に継承していく上で必要な施策である。
② 有効性	C	直接的に効果が発現する取組みが弱かったことから、歴史文化を啓発していく方法を検討するとともに、効果的な資料整理や展示方法についても検討する必要がある。
③ 効率性	C	直接的に効果が発現する取組みが弱かったことから、効率的な資料整理や展示方法についても検討する必要がある。
④ 公平性	C	本施策については、町民全般に供覧可能な状態にはないが、町広報紙における紹介も行われた経緯があり、今後、資料整理や展示方法の検討と併せ、情報発信を推進する必要がある。
⑤ 町民意見の反映	C	歴史文化の保存継承については、社会教育委員の会議等の意見を取り入れているが、今後町民から広く意見を取り入れていく必要がある。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
D	D	
歴史文化の保存継承について、直接的に効果が発現する取組みが弱かったことから、必要な見直しを行いつつ、郷土資料の展示について推進を図るものとする。	同 左	

今後の方向性

継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	
郷土資料の保存について、計画的な施策展開事業の検討を行うとともに、展示については、資料の整理を推進した上で図書館での展示についての検討を併せて進めていくものとする。	同 左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止